

参加自治体と実施カテゴリ

35市区町村、47件のイベント・会議
2011年4月～2012年1月までに開催されたもの

環境啓発イベント

24件

[参加自治体]千代田区、新宿区、文京区、台東区、江東区、世田谷区、渋谷区、中野区、豊島区、荒川区、板橋区、練馬区、葛飾区、江戸川区、八王子市、青梅市、府中市、小金井市、小平市、日野市、清瀬市、あきる野市（22市区町村）



地球温暖化の防止や環境保全を呼び掛けるPRイベントやシンポジウム、展示会、式典などを通して、カーボン・オフセットや地球温暖化防止についてさらに周知し、啓発促進を図ることができました。

講座・セミナー、会議

13件

[参加自治体]中央区、港区、新宿区、文京区、目黒区、大田区、北区、足立区、清瀬市、羽村市、新島村（11市区町村）



講座やセミナー、会議などを通してカーボン・オフセットについて考え、話し合うことで理解を深めることができました。

その他

10件

[参加自治体]板橋区、立川市、昭島市、羽村市、西東京市、檜原村、大島町、新島村（8市区町村）

お祭りやスポーツ大会、展示会などの地域住民のふれあいや産業振興などを目的としたイベントは、カーボン・オフセットをより多くの人へ知ってもらう機会となりました。

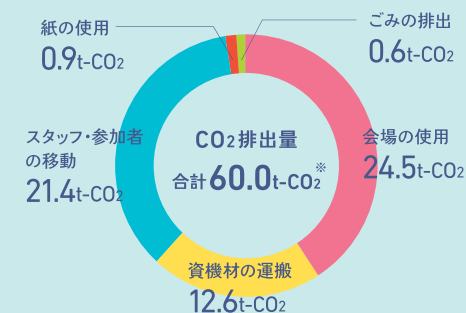


[エコプロダクツ2011「東京ECOの森」]



エコプロダクツ2011で市区町村の取り組みを紹介するブース出展においてカーボン・オフセットを実施しました。

CO₂ 対象となったCO₂排出内容



※この他に、みどり東京・温暖化防止プロジェクトで実施したエコプロダクツ2011（1件）、カーボン・オフセットの研究での会議（29件）、説明会・職員研修（3件）でのCO₂排出量を加え、100トン分のCO₂をオフセットしました。

Carbon Offset

未来のために、みんなで出来ることを

カーボン・オフセット

東京の市区町村が実践した連携とCO₂削減の取り組み

[カーボン・オフセットの研究]

この研究は、みどり東京・温暖化防止プロジェクトで2009年度から3年に渡って取り組んだものです。2011年度には、その実践として、岩手県釜石市のオフセット・クレジット（J-VER）※をプロジェクトで共同購入し、各市区町村が連携して、カーボン・オフセットを実施・体験しました。

カーボン・オフセットって何？

カーボン・オフセットとは、自分たちが出した温室効果ガス排出量のうち、削減努力をしてもどうしても減らせない排出量の全部、または一部を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ（オフセット）をすることをいいます。



※オフセット・クレジット（J-VER）：環境省が所管するオフセット・クレジット（J-VER）制度に基づき認証される排出削減・吸収量（クレジット）

カーボン・オフセットを市区町村が連携して行うことは
お互いの環境の違いを理解するきっかけにもなりました。
改めて感じた、人と、環境と、向き合うことの大切さ。
都市で出来ること。森や海で出来ること。
未来のために、ここから出来ることがあります。



オフセット・クレジット（J-VER）共同購入 [みどり東京・温暖化防止プロジェクト]

プロジェクトで共同購入したオフセット・クレジット（J-VER）を用いて、35市区町村が47件の会議やイベントを開催しました。ここでは、その一部の事例をご紹介します。

事例01

新宿区 × 新島村

「こどもエコツアー」

都内の小学生約30人が参加し、新島、式根島での磯の生きもの探し、海岸清掃などの自然体験をしながら、地元住民との交流を図るエコツアーでカーボン・オフセットを行いました。船の移動に伴うCO₂排出量の算定を行い、CO₂排出量を具体的に知る体験となりました。

同じ東京でも大きな環境の違いがあることを知り、豊かな自然環境の美しさや大切さを体感するツアーにもなりました。



episode

「自然をダイレクトに体感して学ぶ」 木村 純一（新宿区 環境清掃部 環境対策課長）

この自然体験事業に参加することで、驚くほど美しい青い海や夕焼け、星空ウォッチングを体験し、子どもたちと一緒にワクワクし感動することができました。まずは、こうした体験を通じて自然の大切さを感じてもらうこと、自治体同士が顔を合わせて連携することも、基礎自治体の役割としては大切だと感じています。そして、その体験の先にCO₂削減に向けた環境対策があると考えています。

事例02

港区

「あきる野環境学習」

あきる野市で開催する港区民を対象とした環境学習（植樹、農業体験等）でカーボン・オフセットを行いました。移動にはバスを使用し、そこでのCO₂排出量をオフセットしています。バスを利用したイベントのオフセットは初めての試みでしたが、参加者にとって“他人ごと”ではなく、“自分ごと”としてとらえることができるようになり、伝わりやすいものになりました。



事例03

檜原村

「^{ほっさわ} 弘沢の滝ふるさと夏まつり」

日本の滝百選「弘沢の滝」を中心とした観光拠点のPRと農産物・林産物等の販売、郷土芸能の上演により観光振興と産業振興に寄与することを目的としたイベントで、カーボン・オフセットを行いました。今後、村では環境保全の一環として木質資源を活用した薪ボイラーを導入し、削減したCO₂排出量によりオフセット・クレジット（J-VER）の創出・提供を予定しています。このたびの夏祭りは、村民や職員などがカーボン・オフセットについて知ることのできるよい機会となりました。



オフセット・クレジットの創出・提供 [岩手県釜石地方での森林保全活動]



釜石市は、岩手県の南東部に位置し、東は太平洋に接しています。

海と緑に囲まれた釜石市は、四季を通じて温暖な気候に恵まれています。釜石地方森林組合では、森林の間伐、植林、木材の加工や販売、都市部の緑化作業、環境保全活動を行っています。その森林管理を通じてCO₂吸収量の増大を図りオフセット・クレジット（J-VER）を発行しています。2011年3月11日に発生した東日本大震災で釜石市は津波の影響を強く受け、釜石地方森林組合の事務所も全壊となりました。



みどり東京・温暖化防止プロジェクトは、この釜石地方森林組合のオフセット・クレジット（J-VER）を共同購入し、森林の保全と被災地の再建に寄与しています。

岩手県釜石市で行われる森林保全活動に伴うCO₂吸収量

